

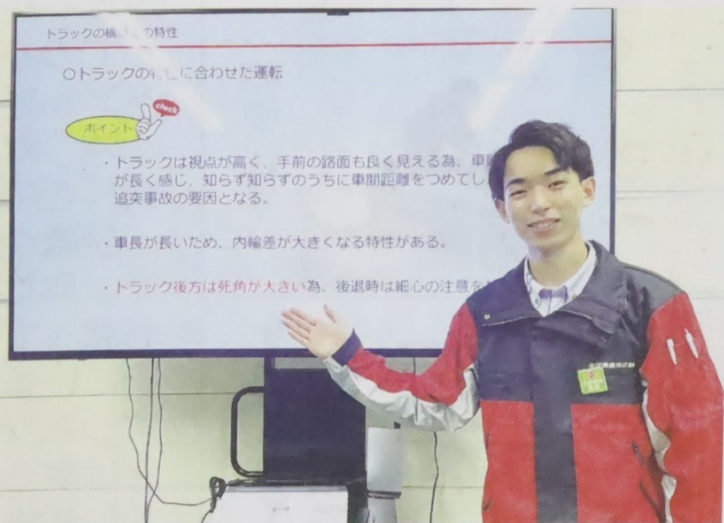
わが社の  
**NEW! HOPE**  
琉球通運

【沖縄】琉球通運（喜納秀智社長、那覇市）に勤務する島袋歩夢さんは入社して1年、運行管理部に所属している。高校を卒業後、同社へ入社した島袋さんは現在19歳。運行管理者として、日々奮闘中だ。

高校では自動車工学科で、自動車全般の知識や技術について学んでいたという。車に興味を持ったのは、元レーシングドライバーの土屋圭市氏によるドリフトを見たのがきっかけだった。「自分の手足のように車を動かす姿を見て、車に興味を持ち始めた」と語る。

本当は整備工場に就職するつもりだったと明かす島袋さ

## 島袋歩夢さん 運行管理者として日々奮闘中



島袋さん

「経験の浅さや年齢の若さで指導の難しさを感じている」とし、「見習う立場から教育する立場になり、運行管理者としての自身の成長を実感している」とやりがいも感じている様子。

そして毎日、ドライバーとのコミュニケーションも大切にしている。「指導の際も、まず時間を割いてきてくれていることへの感謝を伝える」とし、積極的な声かけを意識しているのだという。

アウトドアな島袋さんは、休日によく友人とドライブやツーリングに出かけるのだそう。沖縄北部を目指し、自然を満喫しているという。

「若い方にも運行管理の資格にチャレンジしてもらいたい」とし、「運送業界は、ドライバーがいるから成り立っている。ドライバーの声を聞き、それに応えられるような運行管理者になりたい」と意気込みを見せる。（越後桃子）

最近では、新人教育の担当も任されているという。日々の業務について、「ドライバーに負担がかからないような指導を心掛けています」と話す。